

項番	ご意見の内容	市の考え方	プランへの反映
1	<p>【基本方針1について】</p> <p>学校にも家にも街にも、子どもたちが本と出あえる環境を作ることが大人の責任と考える。</p>	<p>ご意見のとおり、子どもたちが身近に本と出あえる環境は大切だと考えます。計画の取り組みを進め、「すべての子どもたちが、身近に本と出あえる環境づくり」を目指します。</p>	<p>左記の考え方のとおり、計画の変更等は特に行いません。</p>
2	<p>【基本方針2について】</p> <p>大人が子どもに本を読むのも大切だが、高学年が低学年に読むといった、子どもたち自身が読み聞かせの楽しさを発見することも大切だと思う。</p>	<p>ご意見のとおり、大人にしてもらうだけでなく、子どもたち自身が読み聞かせを行うなど、自ら読書の楽しさを発見したり発信したりする活動は大切だと考えます。計画に基づき、乳幼児、小中学生、青少年と成長段階に応じて「子どもたちが、自ら読書の楽しさを発信する取り組み」を進めます。</p>	<p>左記の考え方のとおり、計画の変更等は特に行いません。</p>
3	<p>【基本方針3について】</p> <p>学校で読み聞かせをしている保護者との出会い、図書室の活用の仕方など、司書をもっと活用すべきと考える。</p>	<p>学校においては、教諭、司書教諭、学校司書、市政協力員が連携し、児童・生徒への図書室活用の指導等を行ってまいります。</p> <p>また市立図書館は「読み聞かせ入門講座」の開催や各館窓口での読書相談等を通して、引き続き保護者にも情報提供をしてまいります。</p>	<p>左記の考え方のとおり、計画の変更等は特に行いません。</p>

項番	ご意見の内容	市の考え方	プランへの反映
4	<p>p.6【移動図書館団体貸出実績（保育園・幼稚園）のグラフについて】</p> <p>①保育園へののべ巡回回数が平成29年度54回から57回に増加している。その理由は何か。また、幼稚園へののべ巡回回数が平成28年度18回から平成29年度15回と減っている。その理由は何か。</p> <p>②幼稚園の平成29年度、30年度ののべ巡回回数は同じく15回だが、貸出冊数は減っている。その理由の分析は行われているのか。</p> <p>③市内各図書館に近隣の保育園・幼稚園等が来館した際の貸出統計はとっているのか。またその際に行った「おはなし会」についての統計はとっているのか。</p>	<p>①移動図書館の保育園・幼稚園への団体貸出は各園に年3回の巡回を行っています。平成29年度の巡回は、保育園が1園増加し、幼稚園は1園減じたため、それぞれのべ3回の巡回回数が増減となったものです。</p> <p>②移動図書館の貸出は屋外で行うため、巡回日の天候により貸出冊数に影響が出ます。平成30年度の貸出冊数の減少55冊の原因は天候によるものと分析しています。</p> <p>③移動図書館の団体貸出とは別に、市内各図書館が行った団体貸出の統計もとっています。また、その際に行ったおはなし会の統計もとっています。これらの統計は、図書館事業の統計として別途公表しています。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>
5	<p>p.6【市立図書館による乳幼児関連施設への配本状況のグラフについて】</p> <p>乳幼児関連施設の数に明記してはどうか。</p>	<p>ご指摘の点については、グラフ下に注（※）として記載いたします。</p>	<p>（※）平成27年度・平成28年度27施設、平成29年度26施設、平成30年度25施設に配本</p>

項番	ご意見の内容	市の考え方	プランへの反映
6	<p>p.14【<中学校>取り組み状況について】 全体の約9割・・・約9割→○校と書くべきで、「朝読書」等の1つも行っていないのであれば、その学校にこそ「学校司書」を配置されているのか（中学校1校、来年度は○校）。</p>	<p>記載に誤りがありました。市内中学校全校で、様々な取り組みが行われています。</p>	<p>「約9割」→「全中学校」に修正いたします。</p>
7	<p>p.16【移動図書館団体貸出実績（学童クラブ）のグラフについて】 ○ヶ所、年○～○回巡回、在籍児童数（○○年5月1日現在）の数字が必要ではないか。</p>	<p>ご指摘の点については、団体貸出であることを踏まえ、巡回箇所と巡回回数を補足いたします。</p>	<p>グラフ下の注（※）を以下のように修正いたします。 （※）学童クラブへの巡回回数は毎年度81回 →（※）毎年度、27学童クラブに各3回巡回</p>
8	<p>p.17【市立図書館による本の森の実施状況のグラフについて】 「本の森」の実施クラス数（○○年5月1日現在）を、明記してはどうか</p>	<p>「本の森」は、市内全小学校の全学年に、配本をしているものです。クラス単位での配本ではないため、学校数と配本回数を補足いたします。</p>	<p>グラフ下の注（※）を以下のように修正いたします。 （※）本の森の配本回数は、毎年度のべ51回 →（※）「本の森」配本は、毎年度、小学校17校に各3回実施</p>
9	<p>P.29 6) ④【「絵本パック」実施館拡大について】 利用者の意見をつのったらどうか。</p>	<p>「絵本パック」は、平成30年（2018年）1月より中央図書館で実施していますが、他館でも利用者から実施希望のご意見をいただいております。そのため、令和2年度（2020年度）より、平山図書館でも実施を予定しています。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>

項番	ご意見の内容	市の考え方	プランへの反映
10	<p>p.38 7) 【学校司書のあり方の検討について】</p> <p>「学校司書」3校3名 来年度は同数としても、近くの図書館なり、横のつながりを保ってほしい。</p>	<p>学校図書館業務が円滑に行われるよう連携を保ってまいります。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>
11	<p>【小学生への読書活動推進について】</p> <p>「本の森」の活動をもっと市民に広く知らせて評価してもらってはどうか。図書館に来て自分で本を選ぶことも大事だが、図書館が選書・搬送し、身近な「学校」という空間で、クラス単位、学期で本の入れ替えを行うなどと工夫されている。</p>	<p>「本の森」については、随時「日野市教育広報 ひのっ子きょういく」にて広報を行っております。図書館が行っている学校図書館支援事業全般について、さらに広く市民に知っていただけるよう広報に努めます。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>
12	<p>【中学生への読書活動推進について】</p> <p>「中学生と作家の交流事業」は良い企画だと思う。きっと2年続けて参加する子が多くいるのではないかと。「ヤングスタッフ」への参加につながればよいと思う</p>	<p>「中学生と作家の交流事業」は、平成28年度より図書館主催事業として毎年実施している事業です。作家との交流イベントを、中学生自らが企画・運営し、同世代へ読書の楽しさを発信しています。中学生の学校を超えた交流の機会ともなっています。部活動や高校受験などの忙しい中、続けて参加する中学生が例年数名います。また、すでに企画・運営を行った中学生のうち2名が、現在は高校生として「日野ヤングスタッフ」の活動に参加しています。中学生の読書活動推進の取り組みとして効果的であると考えており、今後も継続して実施いたします。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>

項番	ご意見の内容	市の考え方	プランへの反映
13	<p>【読書活動事例紹介について】</p> <p>より具体的な事例の紹介が載っており、良い企画だと思う。マスコミ等に投書（読書に関する）があったら、まとめてみてはどうか。</p>	<p>計画の「読書活動事例紹介」については、様々な読書活動が具体的に伝わるように掲載しているものです。今後も具体的な読書活動の事例が紹介できるよう工夫してまいります。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>
14	<p>【計画全体の内容について】</p> <p>気持ちや熱意を感じられない。</p> <p>国や上位組織の政策ありきのトップダウン的な論調や、問題がないようにすすめる雰囲気が強いのではないかと感じる。</p> <p>「子どもたちに読書を推進する」ということを、公共事業として推進し続ける意義を知りたい。そして、それでも「子どもたちに読書を奨励し続けたい」という思いが伝わる文章や計画案を期待したい。</p>	<p>子どもにとって読書は人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことのできないものと考えています。</p> <p>子どもたちが、それぞれに本と出あうことのできる環境づくりに取り組んでまいります。</p>	<p>計画の変更等は特に行いません。</p>